

# TRAD Letter 25



富山県美術館  
アート&デザイン



# 倉俣史朗のデザイン —— 記憶のなかの小宇宙

2024年2月17日(土) - 4月7日(日)



倉俣史朗【イメージスケッチ「ミス・ブランチ」】1988年、クラマタデザイン事務所蔵  
撮影:道忠之 ©Kuramata Design Office

本展のポスターに登場する《ミス・ブランチ》(1988年デザイン)を、どこかで目にして記憶している方は多いのではないのでしょうか。造花のバラを封じ込めた透明なアクリルの椅子は、重力から解放されたようにバラが浮遊し、椅子の形は気配だけを残しているようです。

《ミス・ブランチ》は、主に家具とインテリアの領域で活躍したデザイナー、倉俣史朗(1934-1991)の代表作です。倉俣が1965年に自身のデザイン事務所を構えて以降、家具とインテリアを中心に展開したデザインは、国内・海外で注目を集めました。アクリル、ガラス、建材用のアルミなどの素材を熟知し、それらの思いがけない表情を、独自のイメージネーションに

よってひき出した倉俣史朗。1960年代後半から突然世を去る1991年まで、都市の表層が変貌していく時代の空気や、同時代の美術の動向にも呼応して生み出したデザインは、アートとの境界に迫る雰囲気を持ちながら、自由な創造とともに「デザインとは何か」を問い続けたもののように思われます。

一脚の椅子が、「座る」という用途から解放され、ただ佇み、空間とそこに身をおく人の心にも作用する。それもまた一つの機能と考えた倉俣史朗。本展では、当館所蔵の倉俣史朗による椅子7種8脚や国内美術館等の所蔵作品を通してそのデザインを時代順に紹介するとともに、倉俣の思考や内面にも迫る言葉、ドローイングなども展示します。

## 開催概要

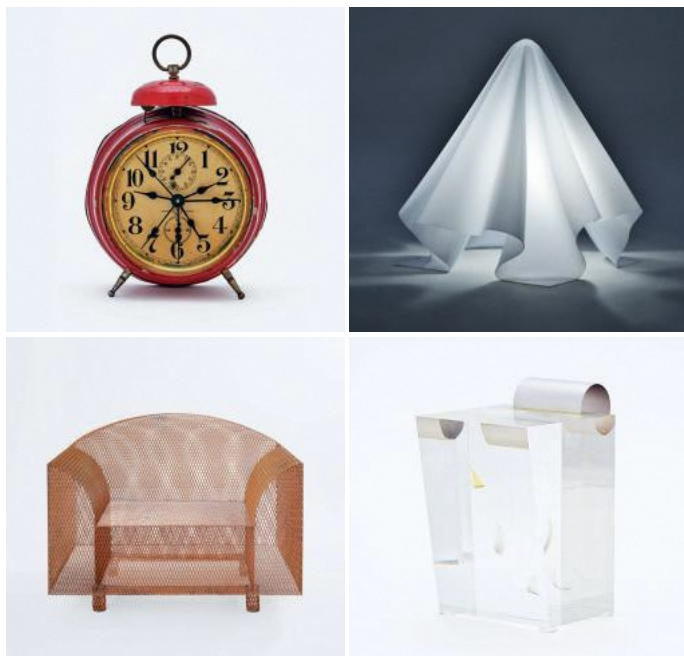
開館時間 9:30-18:00(入館は17:30まで)  
休館日 毎週水曜日(ただし3月20日は開館)、3月21日  
会場 富山県美術館2階 展示室3、4  
主催 富山県美術館、朝日新聞社、北日本新聞社、富山テレビ放送

特別協力 クラマタデザイン事務所  
協賛 東洋ガスメーター、NIX JAPAN、前田薬品工業(五十音順)  
観覧料 一般900円(700円)、大学生450円(350円)  
高校生以下無料 ※( )内は20名以上の団体料金

## イベント情報

会期中に講演会、担当学芸員によるギャラリートーク等を開催予定です。詳細は、当館ホームページやSNS等でお知らせします。

## （ 見どころと出品作品 ）



左上:《七本針の時計》(1967年)個人蔵 撮影:道忠之  
右上:《ランプ(オバQ)》[大](1972年)クラマタデザイン事務所蔵 撮影:道忠之  
左下:《ハウ・ハイ・ザムーン》(1986年)富山県美術館蔵 撮影:柳原良平  
右下:《アクリルスツール(羽根入り)》(1990年)京都国立近代美術館蔵 撮影:道忠之 ©Kuramata Design Office

## POINT

### ▶ 約10年ぶりの倉俣史朗展。当館所蔵も一堂に

世田谷美術館、当館、京都国立近代美術館の3館による共同企画です。倉俣史朗の個展としては、没後の1996年に原美術館を皮切りに開催された世界巡回展、その名を冠した展覧会としては、2011年の21\_21DESIGN SIGHT、2013年の埼玉県立近代美術館以来となります。没後30年以上を経た今なお光を放つ倉俣のデザインに出会う機会です。

### ▶ インテリアデザイナーの五十嵐久枝氏による、会場構成・デザイン

五十嵐久枝氏(イガラシデザインスタジオ主宰、武蔵野美術大学教授、元・クラマタデザイン事務所)による会場構成・デザインは、当館で開催する倉俣展の大きな見どころです。倉俣史朗の作品、スケッチ、言葉のなかを巡る展示空間そのものも楽しんでいただきたいと思います。

### ▶ 展覧会図録、本展オリジナルグッズにも注目

本展のポスター等のデザイナー、永井裕明氏が手がけた図録の造本も見逃せません。全320ページの内容には、一部の資料を除く本展の出品作品と、会場では映像で紹介する現存しないインテリアの写真が掲載しています。そして、トートバッグ、メモパッドなど、魅力的な展覧会グッズも見逃せません。会場とともに、ミュージアムショップにも是非、お立ち寄りください。

北日本新聞創刊140周年記念

## エッシャー 不思議のヒミツ

2024年4月27日(土) - 6月30日(日)



《写像球体を持つ手》 1935年制作 リトグラフ 31,8x21,3 cm  
M.C. Escher Foundation Collection, The Netherlands.  
All M.C. Escher works © 2023 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands.  
All rights reserved mcescher.com

「エッシャー」という名前を聞いたことがある方、教科書などで作品を見たことがある方は大変多いと思います。世界はもちろん、日本でも大変人気の高いこの版画家の個展を、今春開催いたします。

エッシャー(正式名マウリッツ・コルネリス・エッシャー。1898~1972年、オランダ生まれ)は、緻密で細密な「だまし絵」(トロンプ・ルイユ)のような作風、錯覚を利用して、みる人に驚きや発見を与える作風で、数学者や建築家をはじめ現代のクリエイターにも大きな影響を与えています。

ある形で平面をくまなく覆い尽くす「テセレーション(敷き詰め)」、一つの形が次第に別の形へと変形する「メタモルフォーゼ(変容)」など、人間の視覚や錯覚を利用した緻密で幾何学的な画風が特徴的です。

本展は、オランダのエッシャー財団の全面的協力のもと、エッシャーの初期のイタリアの風景の作品から、目の錯覚を利用した代表作、約160点を紹介します。

また、作品を見ていると画面の中に入り込んでしまう感覚を体験していただくため、作品を模したセットや、タッチスクリーンなどのデジタルコンテンツを使って、エッシャーの作品を体験する場を設けます。加えて、作品は写真撮影可能となっており、スマホ撮影で気軽にエッシャーの世界を手元に残すこともできます。

デジタル社会を生きる多くの人々が様々な体験を通して、エッシャーの豊かな創造力の世界を楽しめる展覧会です。

### 開催概要

開館時間 9:30 - 18:00 (入館は17:30まで)

休館日 毎週水曜日(ただし5月1日は開館)

会場 富山県美術館 展示室2、3、4

主催 富山県、エッシャー展実行委員会(富山県美術館、北日本新聞社)、NHK富山放送局、NHKエンタープライズ中部

協力 ARTHEMISIA |  | 

企画協力 NHKプロモーション

協賛 大谷製鉄、塩谷建設、ダイト、東亜薬品、東洋ガスメーター、日東メディック、前田薬品工業、リードケミカル、リッチェル(五十音順)

観覧料 一般(団体)1,500円(1200円)、大学生(団体)1,000円(800円)、高校生以下無料、一般前売り1,200円

※( )内は20名以上の団体料金

## アーティスト@TAD 大田黒衣美「Boiled Aqua」



[参考作品画像]  
work\_2 sun bath 2020 インクジェットプリント 半光沢紙  
Inkjet print, semigloss photo paper 201.6×152 cm

アーティスト@TADは、国内外で活躍するアーティストを富山県美術館（TAD）に招き、滞在して制作やワークショップ、作品展示を行い、アーティストの制作手法や考え方を紹介する企画です。

2023年度は、大田黒衣美を取り上げます。大田黒は、自然や日用品、生き物など身の回りの存在と人との日々の営みが、図らずも意味を生み出す瞬間や、今日まで伝えられる故事・伝承などをもとに、チューインガムやティッシュペーパーなどの絵画的ではないものを用いた絵画作品を制作しています。

今年度のアーティスト@TADでは、大田黒による富山でのリサーチに基づいて、富山の食、そしてこの地に伝わる信仰に着目して作品を制作します。シロエビやズワイガニなどの殻をもつ魚介類は、季節や調理法など温度によって殻の色を淡く、しかし華やかに変化させます。他方、3000m級の山々を誇る立山連峰には、古くから立山信仰という山岳信仰があり、山中の特徴ある地形や湖沼などを地獄に見立てた絵図「立山曼荼羅」は、信仰を広める際に用いられてきました。

これら富山の特色ある風土や文化への興味から、作品制作やワークショップを通して、食や文化にみられる淡さ／鮮やかさ、穏やかさ／険しさの間にある豊かな諧調を見出すことを試みます。

### ▼ ギャラリー展示

2024年4月4日（木）－6月2日（日） 会場：1階 TADギャラリー

### ▼ 公開制作

2024年3月19日（火）－26日（火） 会場：3階 アトリエ

### ▼ ワークショップ「持ち歩ける地獄・浄土をつくろう」

日時：2024年3月17日（日）13:30-15:30

会場：3階 アトリエ 対象：小学生以上～大人 定員：12人

参加費：無料 要申込 ※申し込み多数の場合は抽選

申込期間：2024年3月1日（金）－3月9日（土）

抽選の結果参加できることになった方には3月11日（月）までにご連絡いたします。詳細は、富山県美術館ホームページをご確認ください。



大田黒 衣美  
(おたぐろ えみ)

福岡県出身。東京造形大学美術学科絵画科専攻、東京藝術大学大学院修士課程油画科修了。

2019年に文化庁新進芸術家海外

研修制度を受けベルリンを拠点に活動。現在は愛知県在住。主な展覧会に、「食と現代美術 Part9—食とアートと人」と街—JBankART1929（神奈川/2023）、「ねこのほそ道」豊田市美術館（愛知/2023）、「[the reverie] KAYOKOYUKI（東京/2022）」、「DOMANI・明日展 2021」国立新美術館（東京/2021）、「[MESA] クンストラーハウス・ベタニアン（ベルリン/2020）」、「project N 55」オペラシティ・アートギャラリー（東京/2014）など

## まるごとTADこども美術館



まるごとTADこども美術館は、富山県美術館全館を通して子どもたちが楽しめる展覧会イベント、ワークショップなどを行うプログラムです。

県内4つの学校の児童・生徒の皆さん総勢1310名の作品をTADギャラリーと館内各所に展示した教育企画展「START☆2023」では、子供たちの作品が床、窓、天井に至るまで館内を縦横無尽に埋め尽くしました。また、企画展「金曜ロードショーとジブリ展」にちなんで、『パンダコパンダ』シリーズの上映会を開催したほか、よしとさん(島根県を中心に活動する紙芝居アーティスト)によるワークショップ、紙芝居パフォーマンスを開催しました。

加えて、「START☆2023」出品校の一つである砺波市立出町中学校の合唱部と、クロマティック・ハーモニカ奏者の比嘉祥人さん、ピアニストの藤井亜里沙さんによるコンサートを開催し、美しい音色と歌声がホワイエに響き渡りました。

さらに2歳以上の小学校に上がる前の子ども(=ひよこ)を対象として美術館デビューをサポートする「ひよこツアー」では、当館のコレクション展を見た後にアトリエで工作遊びをして、美術館に親しんでいただきました。

そのほか、会期全体を通して「めざせ!TADマスター」と題したクイズラリーを行いました。各コレクション展示室や「START☆2023」の作品付近にそれぞれの作品にちなんだ問題を出題するパネルを設置。参加してくださった方には「特別な」ミルゾー紙ふうせんおりがみセットをお渡ししました。

連日、子どもから大人まで、クイズシート片手に館内をめぐるたくさんの方の来館者の方の姿が見られました。

### 開催概要

会期 2023年10月7日(土)-2024年1月28日(日)  
会場 1階 TADギャラリー、3階 アトリエ、他館内各所

### イベント

- ▶ 教育企画展「START☆2023」  
日時:2023年12月9日(土)-2024年1月28日(日)  
会場:1階 TAD ギャラリー、館内各所  
出品校:富山市立大沢野小学校、富山市立堀川小学校、砺波市立出町中学校、富山県立にかわ総合支援学校
- ▶ オープンラボ「くるりんカップシアター」  
日時:2023年9月21日(木)-2024年1月30日(火)  
会場:3階 ラボ(アトリエ内)
- ▶ コレクション展クイズラリー「めざせ! TAD マスター」  
日時:2023年10月7日(土)-2024年1月28日(日)  
※2023年12月9日(土)-2024年1月28日(日)は「START☆2023」に関するクイズも設置
- ▶ こども映画上映会 アニメ『パンダコパンダ』・アニメ『パンダコパンダ 雨ふりサーカスの巻』  
日時:2023年10月14日(土)、10月15日(日) 会場:3階 ホール
- ▶ TAD ワークショップ「親子で作ろうダンボールウクレレ“ダンレレ”!!」  
日時:2023年11月4日(土) 会場:3階 ラボ(アトリエ内)  
講師:よしと(紙芝居アーティスト)
- ▶ よしとさんの紙芝居パフォーマンス  
日時:2023年11月5日(日) 会場:2階 ホワイエ
- ▶ 砺波市立出町中学校合唱部×比嘉祥人(クロマティック・ハーモニカ)×藤井亜里沙(ピアノ)コンサート  
日時:2023年11月19日(日) 会場:2階 ホワイエ
- ▶ ひよこツアー  
日時:2023年12月18日(月)、12月19日(火) 2~3歳向け  
2023年12月21日(木)、12月22日(金) 4~5歳向け  
会場:3階 アトリエ、2階 展示室1  
※12月22日は大雪により中止

## オープンラボ「倉俣史朗のデザインー記憶のなかの小宇宙」展 関連ワークショップ デザインDEちょイス

“デザインDEちょイス”シートに自分の好きなイスをデザインしてみよう！  
デザインしたらそのイスを、折って切って2つ並べて見てみましょう。



### 開催概要

開催期間	2024年2月1日(木) - 4月9日(火)	会場	3階 ラボ(アトリエ内)
開館時間	10:00-12:00 / 14:00-16:00 ※入場は30分前まで。	定員	24名 ※1机につき4名
休館日	毎週水曜日(ただし3月20日は開館)、2月13日、3月21日	対象	子ども~大人までどなたでも

※参加無料、事前申込不要。  
※都合により、お休みする場合があります。あらかじめご了承ください。

## 2024年度展覧会スケジュール

- 北日本新聞創刊140周年記念  
「エッシャー不思議のヒミツ」 2024年4月27日(土) - 6月30日(日)
- 民藝一MINGEI  
美は暮らしのなかにある 2024年7月13日(土) - 9月23日(月・祝)
- 第14回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2024 2024年10月12日(土) - 12月15日(日)
- 没後20年 東野芳明と戦後美術 2025年1月25日(土) - 4月6日(日)

瀧口修造コレクションより

## 《タージ・マハル旅行団のバッジ》

製作年不詳 プラスチック、安全ピン 約7.1cm



「TARJI MAHAL TRAVELLERS」と書かれた黄色いバッジ。太陰太極図や密教法具の金剛杵のような形があしらわれたこのバッジを、瀧口修造がどのような経緯でいつ入手したかは不明だが、自筆年譜の1971年には、「夏頃、友達の小杉武久らの『タージ・マハル旅行団』が新宿の地下スナック・バー『セバスチアン』で毎土曜夜に自由演奏しているのを聴き深く感銘。それが機縁となり、同店を経営する画家加賀見政之とマダムからすすめられるままに、十一月の一か月間、同店の壁に未発表の旧作に新作をまじえて展示、多くの友、特に若い未知の人と親しく語る機会にめぐまれる。」とある。この記述から、バッジはこのグループのものと思われる。実験精神を重視した瀧口は、個展の契機となった彼らのパフォーマンスの自由な即興と実験的な姿勢に大いに共鳴したに違いない。

タージ・マハル旅行団は、小杉武久、小池龍、木村道弘、土屋幸雄、永井清治、長谷川時夫、林動嗣（生誕順）の7人により即興音楽集団として1969年に「形成」された。なかでも小杉武久は、ジョン・ケージーや多くの前衛アーティストたちと共演しており、瀧口にとつての「友達」であった。その小杉を中心とするタージ・マハル旅行団は、前衛音楽の旗手として国内外の現代音楽や現代美術のイベントに参加しつつ、フリー・ジャズのドン・チェリーやニュー・ロックの頭脳警察、はちみつばい、かまやつひろしらと共演するなどジャンルを超えて活躍した、世界に類を見ないインター・メディア・バンドであった。

2010年、ミティアー美術館館長としての長谷川時夫氏と偶然知己を得た筆者は、幸いにもそれ以後音楽について話をする機会に恵まれている。1971年タージ・マハル旅行団はストック

ホルム近代美術館に招聘され、渡欧の資金カンパ・コンサートが6月に開かれた。プロデューサーに粟津潔、一柳慧、中谷美二子、ミッキー・カーチス、内田裕也、副島輝人、ハル・スローン、木村英輝の名前が挙げられ、瀧口の名はないが、長谷川氏によれば瀧口も自身の絵を1枚彼らに贈ったそうである。また、1972年7月開催のロンドンへの渡航資金カンパ・コンサートに、瀧口は世話人の一人として名を連ねている。当時はメンバー3人以上の出演でタージ・マハル旅行団名義の演奏が成立したとのことだが、1976年から分裂していったこのバンドの精神と活動を長谷川氏は守り続け、1978年7月にツアーを挙行。記録によれば、メンバーは大きく変わったが富山市の「珈琲舎ぼろ」でも演奏している。

長谷川氏は、世界を歩き各地で石を眺めながら、あらゆる物質の根源として石は存在し、宇宙は石でできていることに気付いたという。そして、2008年12月には約30年ぶりに音楽活動を再開し、2014年からは「ストーン・ミュージック」と称してパフォーマンスを行っている。それにはタージ・マハル旅行団時代の「石のパフォーマンス」も含まれ、ジャンルを越境した、メンバーの自由な即興演奏を通じて自然との一体化をはかることが、タージ・マハル旅行団の音楽の理想だったのではないかと強く感じさせる。そして、それを支えているのは若いアーティストたちである。瀧口が深く感銘を受けた演奏は、長谷川氏により新たな展開を迎え、若い人々に新鮮な刺激を与え続けている。このバッジは、瀧口との出会いと記憶が刻まれた記念すべきオブジェといえよう。

（富山県美術館学芸課 上席専門員 八木宏昌）

※参考文献 川崎弘二「ストーン・ミュージック 長谷川時夫の音楽」2021年、engine books - difference刊

富山県美術館 (TAD)

〒930-0806 富山県富山市木場町3-20 (富岩運河環水公園内) tel.076-431-2711 fax.076-431-2712 <https://tad-toyama.jp/>